Alliance Cooperation of Construction Equipment & Scaffolding for Safety
Access新聞
Vol.180

見える安全・感じる安心　全国仮設安全事業協同組合

点検に勝る安全無し　全国仮設安全事業協同組合

全国仮設安全事業協同組合　Alliance Cooperation of Construction Equipment & Scaffolding for Safety
編集・発行人　東尾　正　発行所　全国仮設安全事業協同組合（ACCESS・アクセス）　本部　〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町15-18ユニゾ小伝馬町ビル5階 TEL 03-3639-0641 FAX 03-3639-0640　北海道支部　〒060-0051 札幌市中央区南1条東7-2-4 カタギリ・コーポレーションビル TEL 011-206-8683 FAX 011-206-9787　東北支部　〒980-0802 仙台市青葉区二日町13-22-407 カルコスビル4階 TEL 022-713-6051 FAX 022-713-6052　関東支部　〒457-0822 東京都中央区日本橋小伝馬町15-18ユニゾ小伝馬町ビル5階 TEL 03-3639-1571 FAX 03-3639-3980　北信越支部　〒950-0911 新潟市中央区笹口3-14-2 辰巳ビル2階 TEL 025-255-6210 FAX 025-255-6211　中部支部　〒457-0822 名古屋市南区浜田町1-10 TEL 052-614-0701 FAX 052-614-0705　近畿支部　〒540-0010 大阪市中央区材木町1-6 第12新興ビル6階 TEL 06-6966-1610 FAX 06-6966-1617　中国支部　〒730-0016 広島市中区幟町3-55 幟町ゼネラルビル6階 TEL 082-511-2051 FAX 082-227-2720　四国支部　〒761-8071 香川県高松市伏石町2163-21 TEL 087-869-8065 FAX 087-869-8066　九州支部　〒810-0045 福岡市中央区草香江1-5-2-401 TEL 092-707-3155 FAX 092-707-3156　MAIL info@kasetsuanzen.or.jp　WEB www.kasetsuanzen.or.jp　仮設安全監理者センター www.kasetsu-center.jp

すべての一般国民が建設工事の〝発注者〟として責任と心構えを!!

発注者が工事の安全施工とその費用負担をすること!!

発注者としての安全と費用の〝見える化〟を実践し
建設職人基本法に入魂!!

平成30年度 〝安全見える化〟大会 ～国民の関心と理解を深める取組み～

全国仮設安全事業協同組合（ACCESS・小野辰雄理事長）は、18年10月31日東京都港区の建築会館にて「〝安全見える化〟大会」を開き、組合員をはじめ政府関係者や各団体の関係者総勢743人が参加しました。式典では青年部による決議表明、9名の仮設安全監理功労者の表彰などを実施。屋外会場には4つのゾーンからなる「〝安全見える化〟墜落災害ゼロ展示」を設置し、政府関係者はじめ多くの来場者が実際の足場に上るなど、建設工事従事者の安全及び健康の確保の推進に関する法律（建設職人基本法）及び同法における基本計画の意義・内容の周知と、建設現場における安全確保の重要性を幅広く国民に理解していただく1日となりました。

午後1時半、第1部の式典が開始。大会実行委員長である杉山信夫関東支部長が高らかに開会を宣言した後、小野辰雄理事長が挨拶しました。

「外国人労働者を受け入れるのであれば墜落災害をきちんと止める対策が必要である。」小野理事長は、外国人労働者の拡大に向け、政府が今国会で成立を目指す出入国管理法改正案に関して、足場などからの墜落・転落災害が未だに増えている現状を鑑み「建設現場で安全に働く環境が整っていない」と挨拶の中で警鐘を鳴らしました。

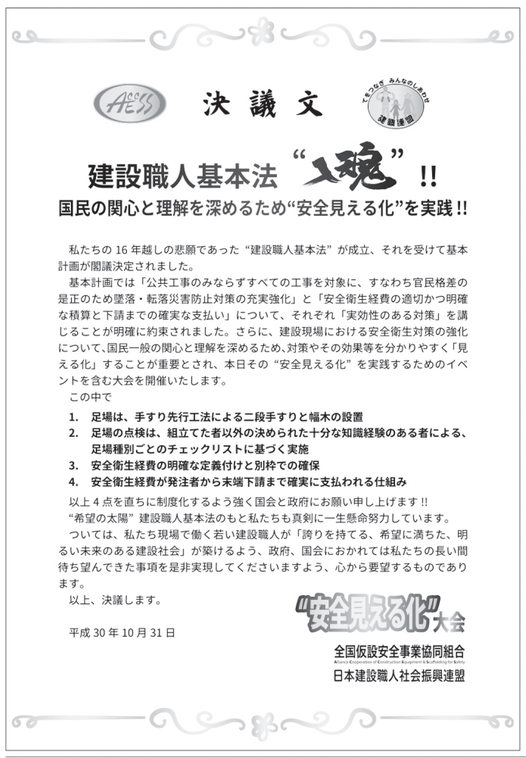
17年における建設業の墜落・転落死亡災害をみても前年比1割増しの196人で「2日に1人が亡くなっている計算」と強調。今後はさらなる安全対策強化に加えて「本体工事費と安全衛生経費は別枠計上する必要がある」とし、業界の慣習打破を呼びかけました。国土交通省及び厚生労働省で実務者レベルの検討会が行われてることに触れ、「業界内団体同士の会議の色合いが濃い。支払い元である発注者にもその責任と心構え、さらに安全に関する費用の重要性を理解してもらいたい」と訴えました。

そのため、「国民の関心と理解を一段と深めていきたい」と今後も一般への周知のため、全国的な「見える化」活動の強化を進める決意を語りました。

4点の制度化を要請

大会決議を満場一致で採択

日本建設職人社会振興連盟（会長・國松孝次）と共同で行った大会決議では、建設職人基本法の基本計画に基づき「建設現場における二段手すりと幅木の設置」「足場の点検は、組立てた者以外の決められた十分な知識経験のある者による、足場種別ごとのチェックリストに基づく実施」「安全衛生経費の明確な定義付けと別枠での確保」「安全衛生経費が発注者から末端下請まで確実に支払われる仕組み」の4点の制度化を求めた決議文＝左上＝が、青年部（小岸昭義会長）読み上げのもと、満場一致で採択されました。



決　議　文

建設職人基本法〝入魂〟!!

国民の関心と理解を深めるため〝安全見える化〟を実践!!

私たちの16年越しの悲願であった“建設職人基本法”が成立、それを受けて基本計画が閣議決定されました。

基本計画では「公共工事のみならずすべての工事を対象に、すなわち官民格差の是正のため墜落・転落災害防止対策の充実強化」と「安全衛生経費の適切かつ明確な積算と下請までの確実な支払い」について、それぞれ「実効性のある対策」を講じることが明確に約束されました。さらに、建設現場における安全衛生対策の強化について、国民一般の関心と理解を深めるため、対策やその効果等を分かりやすく「見える化」することが重要とされ、本日その“安全見える化”を実施するためのイベントを含む大会を開催いたします。

この中で

1. 足場は、手すり先行工法による二段手すりと幅木の設置
2. 足場の点検は、組立てた者以外の決められた十分な知識経験のある者による、足場種別ごとのチェックリストに基づく実施
3. 安全衛生経費の明確な定義付けと別枠での確保
4. 安全衛生経費が発注者から末端下請まで確実に支払われる仕組み

以上4点を直ちに制度化するよう強く国会と政府にお願い申し上げます!!

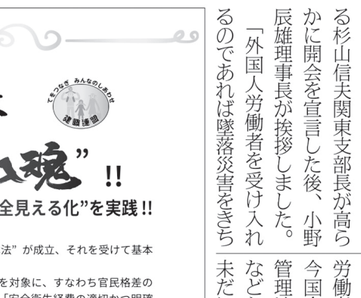
“希望の太陽”建設職人基本法のもと私たちも真剣に一生懸命努力しています。

ついては、私たち現場で働く若い建設職人が「誇りを持てる、希望に満ちた、明るい未来のある建設社会」が築けるよう、政府、国会におかれては私たちの長い間待ち望んできた事項を是非実現してくださいますよう、心から要望するものであります。

以上、決議します。

平成30年10月31日

〝安全見える化〟大会
全国仮設安全事業協同組合
日本建設職人社会振興連盟



決議文を読み上げる青年部

墜落災害防止に多大な貢献

仮設安全監理者功労者表彰

国や地方自治体などでの足場研修会や仮設安全監理者資格取得講習会などで数多くの講師をお務めいただいた方、また多数の足場安全点検を実施された方の功績を讃え「仮設安全監理功労者表彰」を実施。〝安全見える化〟大会において各支部から推薦された9名の方が受賞されました。＝受賞者名簿は下＝

仮設安全監理者とは、仮設安全監理者資格取得講習会（機材実演を含む）において育成された足場安全点検のプロ（専門家）です。厚生労働省労働基準局安全衛生部長通達（12年2月9日付基安発0209第1号）にいう「足場の点検について、十分な知識・経験を有する者」に該当し、適格者である旨を厚生労働省が表明しています。00年に誕生した仮設安全監理者は、これまで延べ11万件を超える現場で足場の安全点検を行い、実施した箇所からの死亡事故報告はゼロ件です。

ACCESSでは、引き続き全国の足場の安全確保に向けて活動してまいります。

平成30年度
仮設安全監理者功労者表彰受賞者

村田　有輝	様	日建片桐リース株式会社
船木　政秋	様	城東産業株式会社
佐藤　秀政	様	株式会社OGISHI
数井　昌彦	様	北国リース株式会社
永井　謙	様	日綜産業株式会社
九十九裕一	様	株式会社旭陽
梶原　泰彦	様	日綜産業株式会社
山田　誠	様	大谷総業株式会社
上地　豊	様	那覇鋼材株式会社

〝安全見える化〟大会 ～国民の関心と理解を深める取組み～

2018年12月現在の速報値

仮設安全監理検査	実施件数	11510	件
	改善依頼件数	15791	件
	検査を実施した現場からの仮設に起因する死亡報告件数	0	件
仮設安全監理者	受講者数	14912	名
	資格取得者数	13382	名
発注者及び災防団体等の依頼による研修会	研修会開催件数	322	件
	研修会出席者数	9392	名

162人の国会議員がご臨席
社労士団体も初賛同

第2部はACCESSが賛同する日本建設職人社会振興連盟（國松孝次会長）主催の式典。国会開会中にも係らず、162人の国会議員（代理含む）の先生方がご臨席。屋外会場に設けた足場やVRなどを体験された先生方からは「足場をただ歩くだけなのに想像以上に怖い。手すりや幅木の重要性を肌身で感じた。」と興奮気味に語られました。

また賛同団体には、これまでの全国中小建築工事業団体連合会（全建連・寺井茂幸会長）、日本建設機械レンタル協会（角口賀敏会長）、日本鋼構造物循環式プラスト技術協会（山田博文理事長）、ACCESSに加え、埼玉県社会保険労務士政治連盟（瀬谷卓美会長）が本年より新たに名を連ねました。

議論白熱のシンポジウム

第3部では建設職人基本法超党派国会議員フォローアップ推進会議（議長・二階俊博自民党幹事長）と共催した「〝安全見える化〟シンポジウム」。建設職人基本法に魂を入れるべく精力的に活動いただいている国会議員の先生方をパネリストに迎え、来場者からの質問や意見に対し丁寧な説明で答えていただきました。建設職人基本法に寄せる来場者の期待と熱意の表れか予定時間を大幅に延長するほど活発な議論が展開されました。先生方からも実効ある施策の早期実現に向け後押しをしていくことを力強く語られました。

ご臨席された国会議員の先生方

衛藤征士郎衆院議員　増子輝彦参院議員　井上義久衆院議員　高村正彦前衆院議員
前原誠司衆院議員　西銘恒三郎衆院議員　太田昭宏衆院議員　西村明宏衆院議員
伊藤信太郎衆院議員　石井正弘参院議員　秋元司衆院議員　玉木雄一郎衆院議員
逢坂誠二衆院議員　上野宏史衆院議員　石﨑徹衆院議員　岩田和親衆院議員
大見正衆院議員　大西英男衆院議員　大島九州男参院議員　大岡敏孝衆院議員
神山佐市衆院議員　神谷昇衆院議員　尾身朝子衆院議員　鬼木誠衆院議員
國場幸之助衆院議員　穀田恵二衆院議員　高村正大衆院議員　北村誠吾衆院議員
佐藤英道衆院議員　左藤章衆院議員　坂井学衆院議員　小宮山泰子衆院議員
髙鳥修一衆院議員　鈴木淳司衆院議員　杉田水脈衆院議員　新藤義孝衆院議員
冨樫博之衆院議員　田嶋要衆院議員　武見敬三参院議員　高橋ひなこ衆院議員
長尾たかし衆院議員　豊田俊郎参院議員　富田茂之衆院議員　冨岡勉衆院議員
野中厚衆院議員　根本幸典衆院議員　中村裕之衆院議員　中根一幸衆院議員
平口洋衆院議員　原田憲治衆院議員　馬場伸幸衆院議員　羽田雄一郎参院議員
星野剛士衆院議員　古川康衆院議員　藤末健三参院議員　平沢勝栄衆院議員
松原仁衆院議員　牧島かれん衆院議員　堀内詔子衆院議員　細田健一衆院議員
山田美樹衆院議員　山添拓参院議員　簗和生衆院議員　室井邦彦参院議員

安全を目で見て肌で感じて
〝安全見える化〟墜落災害ゼロ展示

屋外に設けられた「〝安全見える化〟墜落災害ゼロ展示」。前回大好評だった「VR（バーチャル・リアリティ）体感ゾーン」をはじめ「墜落実験見学ゾーン」や「足場高所体感ゾーン」では、政府関係者、国会議員の先生方など多くの来場者が墜落の恐ろしさ、建設現場の実態を直に体験していただきました。

「安全機材展示ゾーン」では組合員などの協力のもと、墜転落防止に有効な各社の機材を展示、実演。アルインコのアルバトロス、日建リース工業のNDシステム（ダーウィン）、JFE機材フォーミングのファステック、ダイサンのレボルト、アサヒ産業のミレニュームなどによる足場機材とピカコーポレイションのアルミ台車やアルミ親綱、藤井電工の安全帯（ぶら下がり体験台）、谷沢製作所のヘルメットや安全帯、ウッドプラスチックテクノロジーの養生敷板やWボードなどの足場備品の展示が行われ、各社の独自製品をそれぞれアピールしました。

実際の足場に上る、厚生労働省佐々木邦臣建設安全対策室長（中）

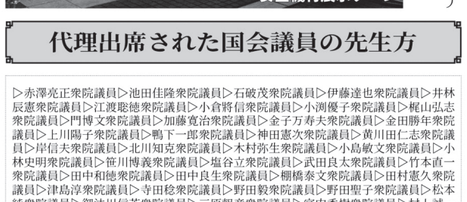
墜落実験見学ゾーン

VR体感ゾーン

安全機材展示ゾーン

代理出席された国会議員の先生方

▷赤澤亮正衆院議員▷池田佳隆衆院議員▷石破茂衆院議員▷伊藤達也衆院議員▷井林辰憲衆院議員▷江渡聡徳衆院議員▷小倉將信衆院議員▷小渕優子衆院議員▷梶山弘志衆院議員▷門博文衆院議員▷加藤寛治衆院議員▷金子万寿夫衆院議員▷金田勝年衆院議員▷上川陽子衆院議員▷鴨下一郎衆院議員▷神田憲次衆院議員▷黄川田仁志衆院議員▷岸信夫衆院議員▷北川知克衆院議員▷木村弥生衆院議員▷小島敏文衆院議員▷小林史明衆院議員▷笹川博義衆院議員▷塩谷立衆院議員▷武田良太衆院議員▷竹本直一衆院議員▷田中和徳衆院議員▷田中良生衆院議員▷棚橋泰文衆院議員▷田村憲久衆院議員▷津島淳衆院議員▷寺田稔衆院議員▷野田毅衆院議員▷野田聖子衆院議員▷松本純衆院議員▷御法川信英衆院議員▷三原朝彦衆院議員▷宮内秀樹衆院議員▷村上誠一郎衆院議員▷山下貴司衆院議員▷山田賢司衆院議員▷山本幸三衆院議員▷渡辺博道衆院議員▷和田義明衆院議員▷田中英之衆院議員▷船橋利実衆院議員▷石井浩郎参院議員▷今井絵理子参院議員▷江島潔参院議員▷大沼みずほ参院議員▷大野泰正参院議員▷こやり隆史参院議員▷酒井庸行参院議員▷佐藤正久参院議員▷山東昭子参院議員▷高野光二郎参院議員▷滝沢求参院議員▷伊達忠一参院議員▷中泉松司参院議員▷中西哲参院議員▷野上浩太郎参院議員▷藤川政人参院議員▷牧野たかお参院議員▷舞立昇治参院議員▷三宅伸吾参院議員▷元榮太一郎参院議員▷山田修路参院議員▷吉川ゆうみ参院議員▷渡辺猛之参院議員▷伊佐進一衆院議員▷石井啓一衆院議員▷大口善徳衆院議員▷竹谷とし子参院議員▷牧義夫衆院議員▷棟葉賀津也参院議員▷藤田幸久参院議員▷大野元裕参院議員▷山尾志桜里衆院議員▷小野田紀美参院議員（順不同）



務台俊介衆院議員　宮川典子衆院議員　三ッ林裕巳衆院議員　松本文明衆院議員

名古屋と岐阜2カ所で安全点検
ACCESS青年部

名古屋市のマンション総合改修工事現場

岐阜県の県道高架橋延長工事現場

全国仮設安全事業協同組合青年部（小岸昭義会長）は11月19日、名古屋市名東区と岐阜県神戸町の2箇所の工事現場で仮設足場の安全点検を行い、施工業者に対し事故防止の徹底を呼び掛けました。

全国から部会員21人が参加。名古屋市では伊東雅史青年部副会長ら14人がマンション総合改修工事現場を訪れ、最上階から順に組立状況を点検しました。

建設工事では墜落・転落による死亡事故が後を絶たず、17年は建設業の労災死亡者数323人のうち175人（42%）が足場などからの墜落が原因。同日のパトロールでは幅木（つま先板）の高さ不足や足場の上に関係のない部材の放置などがあり、元請業者に伝え、改善を求めました。

点検後、伊東副会長は「安全性に優れた足場機材も、正しく組み立てられていなければ、本来の機能を得ることはできない。今回、点検した中には指摘事項が多い現場もあった。会員内で共有するとともに、今後も正しい足場機材の組立や使い方、国が示す「より安全な措置」等の徹底を強く求めていきたい」と語りました。

同青年部は11年度から全国各地70箇所で足場の安全点検を実施しています。点検は足場の点検に関する十分な知識・経験を有する「仮設安全監理者」が足場の種類に応じた点検表などをもとに行っています。